

Modern Kaga Kutani

九谷焼伝統工芸士会

※表示価格はすべて税抜き価格となっております。



15 釉裏金彩牡丹唐草瑞鳥文飾皿
径40.0×高さ7.8 cm
¥1,500,000



■吉田 美統
Minori Yoshita
2000 第47回日本伝統工芸展保持者賞受賞
2001 京展賞受賞
国指定重要無形文化財絵巻金彩の保持者に認定
石川県文化功労者受賞
2006 地日小観賞受賞



22 角皿 花筏
縦28.0×横28.0×高さ9.0 cm
¥200,000



■美山 富
Tomi Miyana
1970 文化勲章受章
滋賀縣五十吉先生門下として師事
1993 日本現代工芸展 会員賞受賞
伝統九谷焼工芸展 優秀賞
日展 特選受賞
2001 経済産業大臣認定九谷焼伝統工芸士
2017 経済産業大臣功労者表彰



23 飾壺 上絵染付草花文
径22.0×高さ31.0 cm
¥198,000



■三ッ井 達也
Tetsuya Mizui
1972 石川県小松市生まれ
1998 京都学芸大学法学部 卒
1999 京都府立陶工高等技術専門学校 卒
地元石川に歸り 父三代 三ッ井為吉に師事
2010 伝統工芸士 認定



16 赤絵三ッ井間取香炉
径11.0×高さ12.5 cm
¥450,000



■福島 武山
Buzan Fukushima
1987 日本工芸会正会員 認定
2001 伝統九谷焼工芸展大賞 受賞(合計2回)
2005 石川県指定九谷焼技術保存会会員に認定
2011 日本伝統工芸士会 副会長就任
2016 第1回 三井コールドン匠賞 受賞



17 夢椿
幅29.0×奥行29.0×高さ34.0 cm
¥2,500,000



■浅蔵 五十吉
Isokichi Asakura
日展特別会員
(社)日本現代工芸美術家協会評議員
石川県美術文化協会理事
経済産業大臣指定伝統工芸士
金沢学院大学名誉教授
石川県彫刻文化財九谷焼技術保存会会員
小松美術作家協会会長



24 青華紅彩三友更紗文 鉢
径25.0×高さ9.5 cm
¥400,000



■三浦 晃禎
Terutada Mizra
2009 経済産業大臣指定伝統工芸士に認定
2014 第17回日本伝統工芸士会作品展にて
経済産業省九州経済産業局長賞(三等)受賞
2015 第18回日本伝統工芸士会作品展にて
経済産業省中部経済産業局長賞(三等)受賞



25 盛唐唐草文青粒昇龍
径19.0×高さ25.0 cm
¥800,000



■仲田 錦玉
Kingyoku Nakada
2013 全国伝統的工芸品公募展入選
伝統九谷焼工芸士会入選 以後多数入選
2016 九谷焼伝統工芸士に認定
2017 石川県伝統産業優秀技術者奨励賞受賞
おむらさきゴルフ倶楽部理事長杯優勝杯制作
2019 日本伝統工芸士会作品展にて一賞市長賞受賞



18 九谷陶彫「絹の道」
幅23.5×奥行14.5×高さ12.0 cm
¥300,000



■宮本 直樹
Naoki Miyamoto
1967 日展彫塑部門入選
1972 現代美術展入選受賞
1982 新機軸社入選受賞
2010 第10回日本伝統工芸士会展受賞
2016 第39回伝統九谷焼工芸展受賞(技術賞)



19 青海波牡丹文菓子鉢
径17.0×高さ5.5 cm
¥70,000



■福田 良則
Yoshinori Fukuda
2010 日本伝統工芸士作品展入賞
2011 創造美術展 東京都知事賞
2017 石川県伝統産業優秀技術者知事表彰
2019 創造美術展最高賞 大賞受賞
日本伝統工芸士 経済産業大臣表彰受賞



26 水瓶 白鳳凰金襴
幅25.0×奥行8.0×高さ33.0 cm
¥280,000



■高 聡文
Toshihumi Taka
2011 日本伝統工芸展入選
2014 ウィーン、ドバイ、パリ、広州にて個展開催
ウィーンマスターピースコレクションに
アジア人初招待される
2018 廣徳九谷匠展に招待
2019 日本伝統工芸士認定



27 色絵染付優細描一輪挿
径12.0×高さ5.0 cm
¥260,000



■木戸 優紀子
Yukiko Kido
2018 第59回 石川の伝統工芸展 入選
2019 伝統工芸士(加飾部門)認定
北陸創造展 北越新聞社長賞
第60回 石川の伝統工芸展 入選
第66回 日本伝統工芸展 入選



20 吹墨釉彩壺「蓮に翡翠」
径24.0×高さ22.5 cm
¥300,000



■山口 義博
Yoshihiro Yamaguchi
1994 日展会友推薦 日展18回入選
2003 現代美術展最高賞受賞
2008 日本伝統工芸展 入選
2014 伝統九谷焼工芸展技術賞受賞
2016 伝統工芸品産業功労者(中部経済産業局長表彰)



21 野ぶどう 額
縦62.2×横29.5×高さ3.8 cm
¥250,000



■山中 國盛
Kunimori Yamanaoka
2012 伝統九谷焼美術展大賞受賞
石川県美術展覧上 他賞2
2013 石川県立九谷焼技術研究所 講師に就任
2017 小松市卓越技術賞

伝統を生きし 未来へ進む九谷焼

伝統を生きし 未来へ進む九谷焼

現代作家展 加賀九谷

Modern Kaga Kutani



特別企画 コトコトライブ

「九谷焼が出来るまで」

2021年1月7日(休) 午前11時~(約30分)

山本長左、山本 篤の2名が工房を案内し、九谷焼が出来るまでの工程を紹介いたします。

■ZOOMを使用してイベントを開催いたします。参加方法など詳しくは特設サイトをご確認ください。後日YouTubeでも配信いたします。

Instagram 投稿キャンペーン

2020年12月31日(木) ~2021年1月17日(日)

販促うめだ本店のInstagram公式アカウント(hankyu_event)をフォローのうえ、画像を#食卓を彩る九谷焼をつけて投稿してください。

※詳しくは特設サイトをご確認ください。

オリジナル クリアファイル 1枚プレゼント(各日2種類)

※絵柄はお選びいただけません



※展示物、イベント内容は変更になる場合がございます。

会場アンケートにお答え
いただいた各日先着100名様

会期 2021年1月13日[水]~18日[月] ※催し最終日は午後6時閉場

会場 阪急うめだ本店 9階 阪急うめだギャラリー 展示販売・入場無料

【主催】現代加賀九谷焼実行委員会(加賀九谷陶磁器協同組合・九谷焼伝統工芸士会)・阪急うめだ本店 【共催】加賀市 【後援】加賀商工会議所

Modern Kaga Kutani

加賀九谷陶磁器 協同組合

※表示価格はすべて税抜き価格となっております。



01 黄磁釉 花瓶(蔀・連弁)
径31.0×高さ26.3 cm
¥1,000,000



■山本 篤
Takahiro Yamamoto
2017 平成29年度 全国伝統的工芸品公募展 内閣府大臣賞 受賞
2018 石川県伝統工芸士会 会長就任
2019 宮内庁より依頼を受け、天皇 皇后 両陛下 御紋入器を制作
2020 秋篠宮殿下 紀殿下 神事用品を制作



08 青白 鉢(連弁)
径29.5×高さ8.7 cm
¥150,000



■山本 高寛
Daisuke Yamamoto
2015 経済産業省認定資格 九谷焼伝統工芸士に認定
2018 平成30年度石川県伝統産業優秀技術者 奨励賞 受賞
2019 宮内庁より依頼を受け、天皇 皇后 両陛下 御紋入器を制作
2020 秋篠宮殿下 紀殿下 神事用品を制作



09 吉祥獅子ノ図 菓子器
径25.0×高さ6.5 cm
¥180,000



■山本 大輔
Daisuke Yamamoto
2004 中部大学 経営情報学部 卒業
同年より、父・山本長左(宮内庁食器制作)に師事
2016 九谷焼伝統工芸士に認定
2019 宮内庁より依頼を受け、天皇 皇后 両陛下 御紋入器を父と共に制作
2020 秋篠宮殿下 紀殿下 神事用品を父と共に制作



02 青華馬上人物動物文 花瓶
径18.8×高さ36.2 cm
¥400,000



■山本 長左
Chozo Yamamoto
2017 宮内庁より依頼を受け、青華金彩鳳凰の図陶鉢を制作
2019 同じく、天皇 皇后 両陛下御紋入器を息子と共に制作
部位の礼(饗宴の儀)に和食器六品目が平成に続いて継統使用される
2020 秋篠宮殿下 紀殿下 神事用品の御印をデザイン、制作



03 色絵金彩泉図香器
幅14.5×奥行12.5×高さ23.0 cm
¥800,000



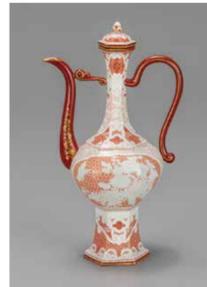
■伊豆蔵 幸治
Kouji Inakura
1991 日展 百景図賞 初入選 以後入選
1992 日本新工芸展(藤田)方賞 N/A会長賞受賞
2004 日本新工芸展(緑地)方賞 外務省賞上げ
2006 日本新工芸展(審査員就任(同2010、2012年))
2014 日本新工芸展(展冬に立つ)方賞 箱根彫刻の森美術館賞受賞



10 加賀聖釉合子
胴径13.5×高さ15.3 cm
¥160,000



■山本 浩二
Kouji Yamamoto
2013 第36回伝統九谷焼工芸展 初入選
2016 第39回伝統九谷焼工芸展 奨励賞
2017 石川県伝統産業技術奨励賞 受賞



11 白砥割菊と蝶文仙菱瓶
幅16.5×奥行11.0×高さ28.6 cm
¥600,000



■山本 秀平
Syuhei Yamamoto
2015 第38回伝統九谷焼工芸展 技術賞
2018 第41回伝統九谷焼工芸展 技術賞 石川県伝統産業技術奨励賞 受賞



04 赤絵金彩七宝文双龍図香炉
径12.0×高さ15.0 cm
¥550,000



■山本 芳岳
Hogaku Yamamoto
1996 通商産業大臣認定資格 伝統工芸士に認定
2005 日本橋三越にて初個展
以後各地で個展開催 現在に至る



05 A dragon
径7.0×高さ18.0 cm
¥230,000



■堀江祐夫子
Yuko Horie
2015 ドイツマンハイム(GALERIE BOHNER)に出展
日本新工芸展にて女流作家二人展
九谷焼伝統工芸士に認定される
2020 第22回 日本伝統工芸士会作品展 大船渡市長賞受賞



12 淡雪釉 鍋びわ型花瓶
径13.5×高さ31.0 cm
¥120,000



■前田 昇吾
Shougo Maeda
2006 京都伝統工芸専門学校 卒業
砂楽陶師にて山本 篤氏に師事
ロクロ成形・型打ち成形を学ぶ
2015 九谷焼陶器展示館にて解説・指導員として勤務を始める
2018 経済産業大臣指定伝統的工芸品 九谷焼伝統工芸士に認定される



13 吉田屋手菊桐文様尺二皿
径37.0×高さ9.3 cm
¥450,000



■寺前 瑛生
Eishou Teramae
1992 皇太子殿下が当社の「金蘭手夫婦湯呑」をお求め下さる
2007 三代瑛生は経済通産大臣から「伝統工芸品産業功労者」として表彰される
2019 三代瑛生(英夫)の長男神威が四代目として寺前瑛生を継ぐ



06 香炉 山翡翠
幅19.0×奥行9.5×高さ22.5 cm
¥200,000



■北出 太郎
Taro Kitade
2015 第37回日本新工芸展 審査員 日本新工芸員賞 受賞
改組 新 第2回日展 入選
改組 新 第3回日展 入選
2016 改組 新 第3回日展 入選
2017 第40回伝統九谷焼工芸展 保存技術賞 受賞



07 合子 イッチン青龍
径8.7×高さ5.7 cm
¥100,000



■芦野 直樹
Naoki Asano
2013 経済産業大臣指定伝統工芸士に認定
2017 第40回伝統九谷焼工芸展にて石川県陶磁器 産工業協会の理事賞受賞を受賞
イッチンという技法を使い、日常食器を中心に作っています。NY、東京、大阪、神戸、京都、名古屋、長野、石川、高知で作品展



14 風神雷神器
縦14.0×横15.0×高さ23.5 cm
¥150,000



■米谷 彰能
Akiyoshi Komaya
2017 日本陶磁協会現代陶芸奨励賞入選 「あやかし井」 白山市美谷陶磁器コンベン2017ねこ 優秀賞受賞(明徳賞)
2018 安曇野そば製口アート展入選
2020 四日市萬古陶磁器コンベン2020 入選(おかのヒョウトコ連カエル)



28 柳に翡翠蒔絵黒柿箱
縦19.5×横13.5×高さ3.5 cm
¥300,000



■針谷 祐之
Masayuki Hatai
2016 全国伝統的工芸品公募展 内閣府大臣賞 受賞
2017 日本伝統工芸士会作品展 日本伝統工芸士会 会長賞 受賞
2018 第53回全日本漆器展 奨励賞 受賞
2020 山中津路伝統工芸士会 会長就任

伝統を生きし 未来へ進む九谷焼



ごあいさつ
加賀市長
宮元 陸
阪急うめだ本店のご厚意と作家、関係者の皆様のご尽力により、本展覧会が開催されますことを心から感謝申し上げます。
石川県加賀市は九谷焼発祥の地であり、先達が築き上げてきた伝統の技や精神が脈々と受け継がれております。また九谷焼だけでなく、山中漆器などの様々な伝統工芸が盛んな土地です。
さらに加賀市は、山代、山中、片山津の3つの温泉、橋立漁港で水揚げされるズワイガニや、300年以上続く伝統技法で捕獲される「坂網鴨」に代表される豊かな食など、自然の恵み豊かな地でもあります。この山海の恵みを伝統工芸の器でいただき、温泉で心の癒しを得る、これこそが当地加賀市の楽しみ方です。
最後にりましたが、本展覧会を通して、多くの皆様に本市に受け継がれた伝統工芸の魅力やその作品に込められた作り手の情熱、卓越した技術に触れていただき、加賀市が誇る文化の輝きをご体感いただければ幸いです。



ごあいさつ
九谷焼伝統工芸士会 会長
加賀九谷陶磁器協同組合 理事長
山本 篤
いつの時代も古さを感じさせないのが九谷焼の大きな魅力ですが、それは、今回の開催テーマでもある、「伝統を生きし、未来へ進む」という作家や窯元の誇りある姿勢によって連綿と支えられてきたからと言えるでしょう。その挑戦の成果を、会場狭しと並ぶ多彩な作品を通じ、是非ともゆっくりとご高覧いただきたく存じます。
昨年に続き、加賀・青泉窯の再生プロジェクトの一環として、古九谷の時代から継承される「型打ち技法」を現代に再現した特別企画もご紹介します。合わせてお楽しみいただければと存じます。
開催にあたりまして、本年も阪急うめだ本店様から多大なるご支援をいただいております。また、加賀市、加賀商工会議所をはじめ、今般のコロナ禍においての格別なご配慮と準備をいただきました関係各位に深く感謝申し上げます。
令和3年1月

未来へ進む九谷焼



古九谷から伝承されている伝統的な「型打ち技法」。青泉窯で明治から昭和にわたって眠っていた貴重な「型」を使用し、山本篤一門が新たな作品を制作いたしました。大切に継承されてきた技法で、現代に蘇った作品を是非ご覧ください。

【青泉窯とは】
明治元年に初代字与門によって加賀市栄谷の地に北出窯として興され、後に現代の九谷焼に大きな影響を与えた北出塔次郎や北出不二雄を輩出することになる。九谷焼の歴史において重要な窯元です。2014年の北出不二雄の他界後、青泉窯は休止状態が続いていますが、加賀九谷陶磁器協同組合や地元有志の集いにより、現代における加賀九谷焼文化の発信基地として再生プロジェクトがスタートしています。

ビデオ上映 九谷焼365年の歴史と「青泉窯」の再生について映像解説
【解説】国指定史跡 九谷焼窯跡展示館 館長 田嶋正和氏

つくり手による 食卓を彩る九谷焼

九谷焼作家が自らの作品を使って食卓を彩った写真を展示。“おうち時間”が増える中、普段使いもできる九谷焼の食器や小物など、魅力をご紹介します。



食空間プロデューサー 丸山洋子氏によるテーブルコーディネート
青泉窯の作品を含む出展作品を使ってコーディネートし、九谷焼の魅力を表しています。

※展示物、イベント内容は変更になる場合がございます。



最新情報は特設サイトをご覧ください
阪急 九谷作家展 検索



阪急うめだ本店
〒530-8350
大阪市北区角田町8番7号
電話 (06) 6361-1381

※営業時間、催し案内、開催期間に変更になる場合がございます。
最新の情報は店舗ホームページでご確認ください。